

都市再生整備計画

ふじたえきまえ
藤田駅前地区

ふくしま くにみまち
福島県 国見町

令和6年7月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	福島県	市町村名	くにみまち 国見町	地区名	ふじたえきまえちく 藤田駅前地区	面積	18.4	ha							
計画期間	令和	7	年度	～	令和	11	年度	交付期間	令和	7	年度	～	令和	11	年度

目標
 大目標:誰もがより安全で快適に住み続けられる地域の形成と空間づくりの実現
 目標1:藤田駅前を中心に充実した道路交通網や歩行者空間の創出を図る
 目標2:子育て環境に適した優良賃貸住宅と地域の住民が交流できる空間の整備を図り、多様な世代が快適に過ごせる環境を提供する
 目標3:駅前エリアの都市機能の向上と居住環境の充実化を図る

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 国見町は、国道4号線、JR東北本線が南東に縦断しており、県庁所在地の福島市からは車で約40分、電車で約17分の距離にある。また、東北自動車道のインターチェンジも有しており、北は宮城県仙台市、南は福島県郡山市まで、車で1時間の距離にある。以上のことから、国見町は交通の便に優れているといえる。
 また、国見町の都市計画区域2,600haに対し、市街化区域143.6haとその割合が20%以下であり、コンパクトな市街地の土台が形成されている。市街化区域では、昭和から平成にかけて、町内の各地で工業団地や住宅団地の造成が進められ、人口の集約と工場の誘致など市街化が図られてきた。旧街道沿いには商店街が形成立地されているが、近年のモータリゼーションの進展や、後継者・担い手不足により、経営者の数は減少傾向にある。また、市街地の北東にある工業団地と、東北自動車道のインターチェンジを有している強みを生かした企業誘致による雇用の確保が求められている。
 藤田駅前地区の構成は、隣接都市計画区域や仙台圏を含む通勤・通学を始めとした町民生活及び経済活動を支える公共交通機関であるJR東北本線藤田駅のほか、保育所・デイサービスセンター、地域住民が集い文化芸術に触れる国見町観月台文化センターが立地している。また、地区の近隣には、役場、金融機関、商店等が立地しており、安心安全に暮らせるまちづくりが進められている。
 一方、平成29年には、国道4号線沿いに町の東日本大震災・福島原発事故からの復興・復旧のシンボルである「道の駅国見あつかしの郷」が開業され、年間150万人が来場するなど、国見町の誘客を増やしている。県北地区マスタープランにおいては、東北自動車道のインターチェンジ付近並びに接続する主要幹線道路沿道に流通業務地としての土地利用が方針決定されていることから、令和6年に片側2車線化が図られ、交通の便がより一層よくなった国道4号線と、国道4号線から商店街へつながる町道の整備が進められている。
課題
 JR東北本線の藤田駅前における通勤・通学者のための自家用車両による送迎車両の混雑・渋滞による、駅利用者の利便性低下や事故の危険性等の解消のため、駅前道路の整備による送迎車両の分散を行い、混雑解消と駅利用者の利便性向上に加えて、町の地域防災計画に定める緊急輸送道路であることから、その機能の確保も図る必要がある。
 また、当該地区には、官民連携による公共施設を利用したコワーキングスペースが一つの交流拠点として機能し定着していることから、藤田駅前は、通勤・通学などの限定的な使用だけでなく、この取り組みと連携した、地域住民が交流できる空間としても整備する。
 駅から徒歩圏内に立地している「国見町観月台文化センター」は、会議室や多目的ホールのほか、文化芸術事業が催されるホールを有しており、多くの町民が利用している。特に、今後は、子育て世代を中心とした若者世代が利用できる、交流やにぎわいのためのスペースを確保するため、誰にでも開かれたにぎわいに資する空間を創出し、多様な使い方で多世代交流を生むことによる持続可能なまちづくりが必要である。
将来ビジョン(中長期)
 【第6次国見町総合計画(2021～2030)「命を大切に 誰もが幸せに暮らすまち(くにみ)」
 6つのまちづくりのうち、「安全・安心な優しいまちづくり」では、政策として「便利で快適なまち(都市基盤)」を掲げ、施策として「有効な土地利用」を関連計画とともに推進している。国見町の10年後の姿として、「町民が生活しやすく便利な都市機能が形成され、景観、環境にも配慮された土地利用がされている。」ことが目標とされている。これからの取組として、都市計画マスタープランの見直し、立地適正化計画の策定を進め、適正な土地利用の規制・誘導のもと、既存の社会資本を生かした総合的かつ計画的な市街地の形成を進める。
 【国見町都市計画マスタープラン「923(くにみ)まちづくりプラン」】(平成10年3月)
 現行計画の策定から20年以上を経過していることから、上位計画や立地適正化計画の内容をふまえ、都市計画区域の課題・施策等を整理したうえで、現状に合わせた改定を予定している。
 【国見町立地適正化計画】(令和7年8月末策定予定)
 本計画は現在策定中のため、現在の案を記載する。
 基本方針「超高齢化社会に備え、誰もがより安全で快適に住み続ける・住み継がれる地域の形成と空間づくり(生活拠点と公共交通ネットワークの形成)」
 今後の人口構成や将来人口を踏まえて、現在の土地利用の状況やこれまで整備してきた都市基盤等の既存ストックの有効活用を基本としながら、町民誰もがより安全で快適に住み続ける・住み継がれる地域を形成し、長期的な視点で生活拠点にあった医療や福祉、商業等の都市機能の集積し、町民が幸せを感じる・共感できる空間づくりを図る。

都市再生整備計画事業の計画 ※都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金)において、以下の項目が該当する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市のコンパクト化の方針 ※都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金)の施行地区要件において、観光等地域資源活用支援型、又は、産業促進区域支援型(施行地区が市街化区域等外に限る)、又は、防災拠点・郊外支援型を適用する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
 ■国見町の市街化区域は、国道4号とJR東北本線に挟まれた狭い範囲で展開され、コンパクトに形成されており、今後必要な誘導施設等の整備を進める。
 ■JR藤田駅前を中心に都市機能誘導施設や公共交通・道路交通環境の整備を進めていく。
 ■市街化区域の人口密度の維持や生活利便施設の配置等と相まって、国見町が良好な住環境を整備し、交通結節点(JR藤田駅・国道4号線)、交流拠点(国見町観月台文化センター等)を効率的かつ効果的に結ぶ公共交通ネットワークを形成する。

目標を定量化する指標

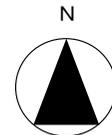
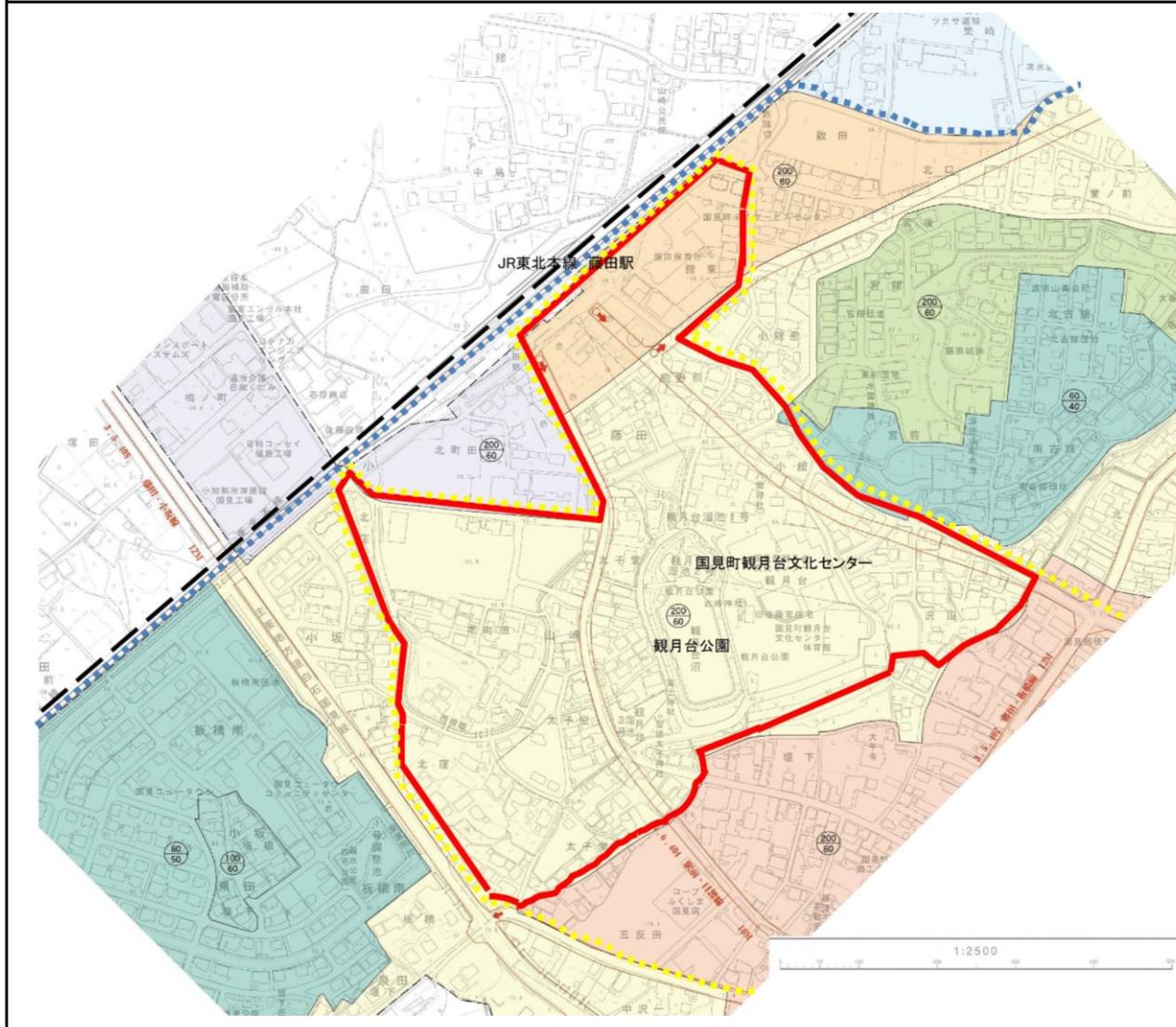
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
藤田駅前施設の利用者数	人/年	官民連携による公共施設を利用したコワーキングスペースの利用者数	藤田駅前を中心に充実した道路交通網や歩行者空間の創出を図ることで、藤田駅やコワーキングスペースなどの周辺環境を利用する人が増加する。	15,000	R5年度	17,000	R11年度

<p>交流センター(仮称)等の利用者数 ※既存施設(国見町観月台文化センター)を含む</p>	<p>人/年</p>	<p>関連事業で設置予定の交流センター(仮称)等の利用者数 ※既存施設(国見町観月台文化センター)を含む</p>	<p>子育て環境に適した優良賃貸住宅と地域の住民が交流できる空間の整備を図り、多様な世代が快適に過ごせる環境を提供することで、交流の場ができ、滞留する人が増加する。</p>	<p>33,147</p>	<p>R5年度</p>	<p>34,000</p>	<p>R11年度</p>
<p>都市再生整備計画の区域内人口密度</p>	<p>人/ha</p>	<p>都市再生整備計画の区域内の人口密度</p>	<p>道路や公園等、藤田駅前エリアの都市機能の向上と居住環境の充実化を図ることで、コンパクトで安心安全に暮らせる地域を形成し、将来的な人口減少が避けられない中、都市再生整備計画区域内の現状の人口密度を維持を目指す。</p>	<p>76人</p>	<p>R6年度</p>	<p>76人</p>	<p>R11年度</p>

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1【藤田駅前を中心に充実した道路交差網や歩行者空間の創出を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前に集中する交通混雑の解消と賑わい創出のため、駐車スペースや広場として藤田駅前の空間を整備する。 	<p>【基幹事業】(道路)藤田駅前広場整備事業 町道2092号線 新設ロータリー整備 【基幹事業】(地域生活基盤施設)藤田駅前広場整備事業 広場整備 【基幹事業】(地域生活基盤施設)藤田駅前広場整備事業 駐車場整備(駐輪場撤去含む)</p>
<p>整備方針2【子育て環境に適した優良賃貸住宅と地域の住民が交流できる空間の整備を図り、多様な世代が快適に過ごせる環境を提供する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賑わい創出のための交流センター(仮称)の整備 ・子育て環境に適した地域優良賃貸住宅の整備 	<p>【関連事業】(高次都市施設)地域交流センター整備事業 【関連事業】(公営住宅)地域優良賃貸住宅整備事業(社総金)</p>
<p>整備方針3【駅前エリアの都市機能の向上と居住環境の充実化を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者の利便性・まちの回遊性の向上 ・住民の憩いの場である観月台公園の一体整備 	<p>【基幹事業】(道路)藤田駅前歩道整備事業 【関連事業】観月台公園整備事業</p>
<p>その他</p>	
<p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動 事業終了後においても、将来ビジョンの達成に向け中・長期の目標達成を目指し、都市再生整備計画事業の効果を最大限に高めるようなまちづくり活動を継続して展開していく。</p>	

藤田駅前地区(福島県国見町)

面積 18.4 ha 区域 国見町大字藤田字親月台、山崎字熊野前、南町田 地内 外



凡例

- 都市再生整備計画区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導誘導区域
- 鉄道(JR東北本線)

凡例		容積率	
市街化区域	-----		
用途	第一種低層住居専用地域		(60/40) (80/50) (100/60)
	第一種中高層住居専用地域		(200/60)
地	第一種住居地域		(200/60)
	第二種住居地域		(200/80)
域	近隣商業地域		(200/80)
	準工業地域		(200/80)
	工業地域		(200/60)
都市計画道路		区分、道路、一帯番号(備考)	
第一種低層住居専用地域については上記の他に次の用途制限があります		最低敷地	200㎡
		高さ制限	10m
		壁面後退	1.5m又は1.0m

藤田駅前地区(福島県国見町) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金))

目標	大目標:誰もがより安全で快適に住み続けられる地域の形成と空間づくりの実現 目標1:藤田駅前を中心に充実した道路交通網や歩行者空間の創出を図る 目標2:子育て環境に適した優良賃貸住宅と地域の住民が交流できる空間の整備を図り、多様な世代が快適に過ごせる環境を提供する 目標3:駅前エリアの都市機能の向上と居住環境の充実化を図る	代表的な指標	藤田駅前施設の利用者数 (人/年)	15,000 (R5年度)	→	17,000 (R11年度)
			民間センター(店舗)等の利用者数 (人/年)	33147 (R5年度)	→	34,000 (R11年度)
			都市再生整備計画の区域内人口密度 (人/ha)	76人 (R6年度)	→	76人 (R11年度)

